8 作道印刷 株式会社

長年のノウハウと技術でブランド確立

ノウハウとシステムの融合 工程の合理化で課題解消

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

パッケージ生産工程の一部機械化と品質・生産性向上による競争力強化

■ 事業概要

手作業となっていた台紙はがし作業工程を機械化し、短納期対応や生産性、品質の向上などを実現する。事業の実施前は台紙はがし作業を手作業で行っていたため、作業員が腱鞘炎になるなど作業負担が大きかった。また印刷物にキズ、折れ曲がりの発生、はがした紙や紙粉が印刷物に混入するなどで検品作業に時間とコストがかかり、品質が安定しないことが問題となっていた。そのため作業工程に高精度高速ブランキングシステムを導入。製品不良の発生をなくし、生産性向上を果たしている。

導入したマスターブランカー

課題	取組	成果
●作業員の身体的負担が大きい ●製品不良の発生による検品作業コスト高	●ブランキングシステムを導入し、作業工程を機械化	●製品不良の発生激減、品質向上 ●高効率化、省力化を実現

業務内容

高効率な生産方式とノウハウが高いブランド力に

作道印刷は日用品、生活雑貨、化粧品、食品関係業界のパッケージ印刷やカタログなどの商業印刷を行っている。工程のシステム化や高機能な機械設備により安定した大量ロット生産を可能とする。その設備を用いた高効率な生産方式と、長年蓄積したノウハウで大手メーカーからの引き合いも多い。また機械化やシステム化によって、作業者が介在する工程を極力削減。作業効率を向上し、ヒューマンエラーを防止する。それにより不良の発生を抑え、高い品質で提供できる。そうした対応が同社のブランド力となり顧客企業から厚い信頼を得ている。

徹底した機械化で不良率を減少、安定品質を実現

製造業の中でも印刷業は、品質管理が難しい製造設備となっている。印刷はインキや水などアナログなものを使用するため、色の均一化が難しく、突発的な汚れが発生する可能性もある。その中でパッケージは製品イメージの顔として顧客から高度な要求がなされており、人の目では完璧と言えるまでの品質管理は難しい。同社では、出荷までに機械による7回の厳しい品質チェックを実施する品質管理体制を築き、不良率を低減している。その設備には印刷機にインライン検査装置を導入。高精度カメラで印刷完了時に排出された刷本を1枚1枚読み取り、OK刷りをした見本と比較し、その差異を検出する。徹底した機械化で不良品の混入を防いでいる。

高精度カメラで印刷不良を防止

強みとビジョン

自動組み版システムで顧客の制作作業をサポート

同社はパッケージ印刷のみならずカタログ制作サービスも行っている。今までのアナログでの原稿作成とは異なるデータベースを利用したデジタルシステムとなっている。このシステムを使用することで、従来のレイアウトや校正にかかる作業時間を半減できる。そのうちレイアウト編集システムでは、基本的に顧客の情報データベースから任意の写真や文章をパソコン画面上に配置するだけでレイアウトができあがる。また校正システムはウェブブラウザー上で校正できるため、顧客がテレワークであっても作業が可能だ。顧客が直接編集できるため、介在する人を減らしミスを減らせる。

自動組み版システム

システム合理化で顧客の課題解消

同社は徹底したシステムの合理化により、工程のシステム化や機械設備を用いた生産システムによりパッケージの不良を低減。またカタログ制作システムは、効率的な作業工程を構築。作業時間の短縮と制作業務の進行の安定化を図っている。顧客の編集や制作にかかる時間を短縮し、コスト削減できるなど、パッケージ印刷やカタログ制作において顧客の課題を解消してきた。今後も顧客の潜在ニーズをくみ取り、印刷を通して顧客の総合的な課題解消を図っていく。

ニーズに応え顧客の課題解消

潜在ニーズ探求し、新たなビジネスモデル構築へ

今日、デジタル変革（DX）が推進され、取り入れていく企業は増えていくと思います。このような時代の中で顧客の潜在ニーズを適切にくみ取り、新たなビジネスモデルの創出していくことが重要だと考えています。当社は顧客企業の本質的ニーズをとらえ、印刷という手段を通して、今後も顧客企業の課題解消をサポートしていきます。

●社　名　作道印刷 株式会社
●代表者　代表取締役　作道 孝行
●住　所　〒578-0921 大阪府東大阪市水走1-12-20
●TEL　072-963-6339　●FAX　072-963-4013
●資本金　30,000千円　●従業員　53名
<<< 代表取締役　作道 孝行

https://www.sakudo.co.jp/

●主な取引先　牛乳石鹸共進社株式会社、株式会社増進堂・受験研究社、ロックペイント株式会社
●主な保有設備　小森リスロンGL-540、小森リスロンL-440、ハイデルベルグ CD102、日光企画販売 アローカット 105XR、日光企画販売 アローカット 105XR-Ⅱ

短納期　企画力　小ロットOK　量産OK　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

カタログ制作において校正作業など工程の煩わしさ、作業工程で起こりうるヒューマンエラーは少なからずある。作道印刷ではこういった問題をシステム化によって作業者の介入を減らし、解決する仕組みを構築している。またカタログ制作システムはリモートワークも可能なため、今のwithコロナの時代に合ったサービスといえる。潜在的ニーズを追求し、機械的合理化によって企業の問題を解決していく同社の取り組みは今後も企業に貢献していくだろう。